

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



特集

新潟市の公民館改革への取組み(その2)「公民館改革フォーラム」
丸山 正(新潟市中央公民館 館長補佐)

4.5.6

- 2 トピックス 全国公民館研究集会 金沢大会参加レポート
- 3 視点 地域に根ざした学校づくりのために
- 3 ひろば 家具作りを楽しむ
- 7 サークル交流 完成の喜びひとしお(糸魚川市) / 「思いは、鳥になり風にのり」(津南町)
- 7 素顔拝見 早川 和雄さん(新潟市) / 松川ゆかりさん(燕市)
- 8 実践記録シリーズ 関川村放課後子ども教室



家庭教育かるかも隊
「第8回真夏の昔話の会」
加茂市

表紙解説
公民館事業から立ち上げた語り部サークル「ほいねの会」によるお話を夏休みの夜に民俗資料館で開催しました。

全国公民館研究集会 金沢大会参加レポート

新潟県公民館連合会評議員・魚沼市中央公民館長 星野 修美

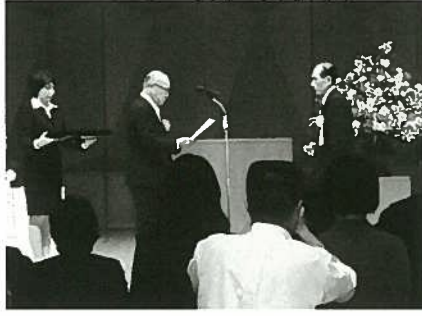
去る十月十四日(木)～十五日(金)に、第32回全国公民館研究集会が金沢市で開催されました。

新潟県からは田原事務局長と私・星野が参加しました。全体会・講演・セレモニーと分科会の模様をレポートします。

まず参加者ですが、参加総数は千六百七十九人で例年と同じ程度の人数でしたが、地元石川県と隣の富山県が合わせて千四十人の参加でその他の都道府県参加者は六百人余りでした。岩手、宮城、岡山、大分県は参加ゼロで大会参加経費が縮減されているという厳しい現実が推察されました。しかしながら全体では多数の参加があり、全体会場の石川県立音楽堂の大ホールは満席の状態でした。

研究集会は「地域の核となる公民館活動の創造」をテーマに、初日は全体会、二日目は分科会が行われました。

全体会では優良職員6・永年勤続職員43・功労者1の表彰がありました。新潟県にも表彰に値する方が必ずいると思われるので、次回(佐賀県)には本県からも被表彰者が出ることを期待したいと思えます。



表彰式の模様

続いて、文部科学省の施策説明がありました。担当の方が熱弁をふるって話をしましたが、提示したパワーポイントの資料の字が小さく、ほとんど読み取れない状態で、良く分からないままに終わってしまい残念でした。

開会行事の最後には「全国公民館研究集会」アピール文が提案され、満場の拍手で採択されました。

① 私たち公民館職員は、その職責を自覚し公民館の活性化に努める。

② 私たち都道府県公民館連合会は、互いの絆を深め公民館の充実・発展に努める。

③ 私たち全国公民館連合会は、全国的な視野で公民館並びに都道府県公連の活動を支援する。

アトラクション(アンサンブル、パイプオルガン演奏)の後、記念講演がありました。講師の「島崎丞」氏は石川県立美術館の館長で「工芸や文化史」の専門家であると共に、「文化財保護」でも全国的に著名な方です。

話は、石川県の芸術文化の歴史を分かり易く説明し、加賀百万石との関わりから現代の伝統工芸に至るまでを一時間二十分にわたって熱演しました。

した。「古伊万里」や「漆器」などが石川県で発展した理由などは、私など素人にも理解できとても印象深い講演でした。



熱弁をふるう島崎氏

二日目の分科会は、金沢市内の六会場で行われました。私は第一分科会(生涯学習の中核としての公民館)、田原事務局長は第六分科会(公民館組織と職員研修)に参加しました。どちらも事例発表が二つあり、その後の質疑応答という運営でした。分科会の内容については別の機会にいたします。

BOOKS INFORMATION

研修資料「公民館ガイドブック」発行：富山県公民館連合会 平成20年度版
* 公民館活動のあり方を考える研修資料 B5版126ページ

研修資料「コミュニティ」発行：佐賀県公民館連合会 平成21年度版
* 新版 公民館ハンドブック。公民館関係者必携研修資料 A5版168ページ

いずれも問い合わせは 新潟県公民館連合会事務局まで
〒951-8053 新潟市中央区川端町2-9 県林業会館内 電話・FAX 025-224-6073 E-mail ni-koren@juno.ocn.ne.jp

視点

地域に根ざした 学校づくりのために

新潟市立二葉中学校長 遠藤 由美



八月初めに当校を会場に公民館主催の新規事業「ジュニアリーダー育成講座」(一泊二日)がプロジェクトアドベンチャーの手法で実施された。九月からは報告会の企画、学んだことを地域にどのように還元していくか等について検討している。自分から一歩を踏み出すことが苦手な子どもたちにとって大きな意味をもつ講座である。

生徒は、呼びかけから足繁く学校に通った公民館職員の方々と親しくなり、自然に人間関係づくりが進んでいく。

二日間の事業を通してだけ

でなく、その後も教職員ではない大人と関わることで、ほめられ認められて成長している。

さらに、地域の皆さんと学校の内外で関わるが増えれば、生徒の社会性が育つことはもちろん、大人も生徒から元気をもらい、大人同士の人間関係を広げ豊かにできる。

「学」「社」「民」(地域)それぞれが責任を果たしながら、互いを尊重し、気負わず、緩やかに繋がることで、学校は地域に根ざし、子どもも大人も、成長できるのである。

退職四年目、家具作りにはまっている。車庫を自分で改装して一階は工房、二階は作品展示室と勝手に決めて一人喜んでいる。工房前には青空喫茶、栗の木の白をテーブルにしてアンティークの椅子(ワインザー風)を三脚備えている。いろいろな人が立ち寄り、話に花を咲かせていくのが、また、楽しみである。

茶単筒、飾り棚、椅子、箱物などを材の表情を見て気の向くままに作っている。今は、テーブル面と脚の付け方に気をつけて座卓を作っている。脚の付け方にはいろいろあるので、テーブルの大きさや脚の材から見極めていくのだが、どの方法で攻めるかいつも悩む。テーブル面はいい面を出すために手鉋を使い、握力がなくなるほど削っている。

昨年からの道の駅や手作りフェアで販売をしている。いくらに値段をつけるか、どんなものが売れるのか、心を躍らせている。



絶対に売れると思うものが売れないで、これは無理というものが売れたりする。これが妙でありおもしろい。作る喜びもあるが、売れる喜びも結構大きい。

自分が作りたいものを構想したり売れるものを予想し作ったりしている、食事の時間も惜しむほど、あつという間に一日が過ぎる。また、情報ハンターになって、材木屋、建築屋、建具屋、金物屋、塗装屋それぞれの人と出会い、話を聞く機会をつくっている。ブログなどを通じて家具作りの楽しさや作品紹介など情報発信も始めた。

六〇歳を過ぎて、少し違う自分に出会い、感動を覚えている。今日この頃である。

H O T N E W S 掲 示 板

県内各地区公連研修会・役員会の開催

- <上越地区三市公民館連絡協議会職員等研修会>**
 日時 平成22年11月12日(金) 13:20~
 会場 上越市直江津学びの交流館
 内容 講演:中島 純(新潟経営大教授)「生きがいづくり、まちづくり」
 実践発表:井田政芳(妙高市)「社教委による一つの実践」
- <中越地区公民館長・主事・公運審等研修会>**
 日時 平成22年11月18日(木) 13:00~
 会場 魚沼市小出郷文化会館
 内容 事例発表:和田顕雄(小千谷市)「ときめき・めぐりあい推進事業」
 星野修美(魚沼市)「魚沼市の新制度が目指すもの」
 上田真藏(魚沼市)「地区公民活動とサポート協議会」
 講演:上田幸夫(日体大教授)「市町村合併と公民館活動」
- <下越地区公民館連絡協議会第2回代議員会>**
 日時 平成22年11月17日(水) 13:15~
 会場 下越教育事務所
 内容 協議:下公連役職員等研修会、社会教育研究会報告
 第61回県大会(新潟大会)報告
 今後のあり方 役職員等研修会について 負担金について
 来年度県大会の主管について

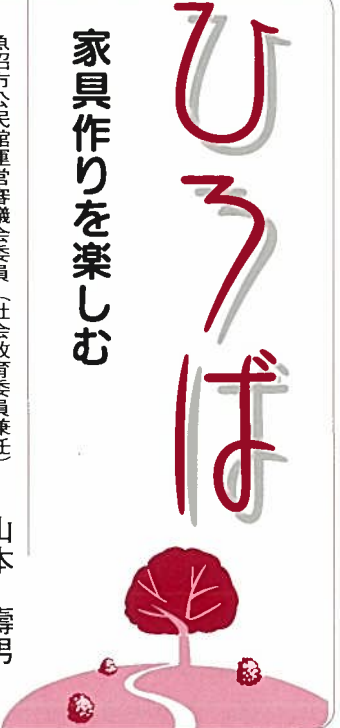
第二回関プロ新潟大会開催準備委員会の開催

- 日時 平成22年11月30日(火) 13:30~
 会場 南魚沼市民会館
 内容 大会分科会会場候補の検討
 大会宿泊等委託業者の検討
 大会主会場視察

家具作りを楽しむ

魚沼市公民館運営審議会委員(社会教育委員兼任)

山本 壽男



革への取組み(その2) フォーラム」

でスタートした。ところが今、2010年、少子高齢化や、カルチャースクールが沢山でき、今年、事業仕分けの対象となり、公民館のあり方そのものが問われています。その中で、新潟市の改革宣言をどのように捉えたのかお話しください。

長澤 新潟市が公民館改革という明確なメッセージを持って一連の取り組みを進め、和田館長が公民館改革宣言を行った、今日、2010年9月4日という日は新潟市の公民館にとって歴史的な日だと思ってる。公民館への思い、改革への思いは、新潟県、新潟市が持ってきた公民館の歴史抜きには語れない。西の福岡、東の新潟と言われ新潟県は公民館の先進県だった。そして、新潟市は新潟県の公民館を束ねていくような中心的な役割を果たしてこられた。そういう蓄積が改革のエネルギーと結びついて今日を迎えていると思っています。

石井山 最近、首長部局への移管や指定管理者の導入、地域委託など、公民館で様々な改革が動くが、それらの改革で職員の側から求めた改革というのを聞いたことがない。たいがいその仕事に就いていない方などが作った計画の中で動いている。職員の立場としてどういう改革がふさわしいのか、そういう言葉を集団的にねじり出すということが大事で、そういうトレーニングが今回実現し、未来に向けて新しい言葉が獲得されたのではという期待を持っています。

神代 公民館が自ら改革していこうということをも自分たちで考えるだけではなくて、市民の皆さん向けにこういう場でアピールをするということは素晴らしいことであり、また、市長も最初から聞いている、こういう自治体というのは全国的に見



ても非常に珍しいのではないかと思います。

森沢 新潟市の事業仕分けで、民間活力の導入が必要、職員の問題、公民館は誰のためのものなのか、その利益をどう測っていくのかなど、全国の事例も見ながら公民館がどのような位置に置かれているのか、課題は何なのかについてお話しください。

神代 バブル崩壊以降、経済、社会に様々な問題が出てきた、少子化、高齢化など、人々の生活に直結する課題としてあがってきたが、公民館がどう関わってきたかを考える必要がある。住民が持っている課題を解決す



るためにいろいろ学習することが必要だ、たとえば環境や高齢化、どうしたら振り込め詐欺にあわないかということなど、住民側の学習ニーズは高まっていると思うが、これらの課題に多くの公民館が対応できていない。そこで公民館不要論、カルチャーセンター化議論が出てくる。そこを当の公民館や社会教育を担当している、文科省や教育委員会の職員がどう考えるか、聞われていると思っています。

私が文科省の社会教育課長るとき「公民館海援隊」をつくりました。国として社会教育に対して何ができるか考えました。図書館や公民館の関係者に呼びかけてできたのがこの海援隊というものです。それぞれの海援隊ではメーリングリストを作って情報交換、意見交換が活発に行われております。

石井山 地域の中に見えない人間関係がどれだけストックされているかが、コミュニティの強さに比例する、こういった人間関係を蓄えていく価値は今の時代だからこそ、高まっているというのが

←6ページへつづく

特集



新潟市中央公民館
館長補佐
丸山 正

2010にいかた公民館改革フォーラム
公民館は、地域を元気にします！

日時 平成22年9月4日(土) 14:00~16:40
会場 新潟市黒埼市民会館1Fホール

第1部 改革宣言と職員研修の中間発表
第2部 公民館改革フォーラム(パネルディスカッション)

【はじめに】
公民館改革フォーラムは、職員研修の中間発表と「公民館改革宣言」を公民館職員や区役所職員だけでなく、公民館運営審議会や活動協力員、一般市民にも広く理解してもらったための機会とす
るためと、様々な分野の講師が「公民館改革の意義、その実現に向けて」というテーマでパネルディスカッションを行い、それを受けて公民館職員や公民館に関わる人々が「公民館改革」の意識をより高めることを目的に開催した。

【新潟市公民館改革宣言】
新潟市公民館の改革宣言は3つのフェーズから成り立っている。「1ふれあい、2まなびあい、3ささえあい」である。
『新潟市の公民館は地域の人たちが主体となつて地域が最大限發揮できるように一緒に考え学びあひ学びの成果を生かして地域の絆づくりを支援します。私たちは地域に出かけ一緒に取り組み地域を元気にします。平成22年9月4日 新潟市公民館』と中央公民館長和田明彦は300人の参加

新潟市の公民館改革

者の前で声高らかに宣言した。

【公民館改革職員研修の中間発表】

1班は、主に北区・秋葉区・江南区に勤務する職員が中心となり、「3年後の公民館を描く～公民館大カイズ計画～」をテーマにグループ発表をした。その結果、グループ6・7の合同チーム(11名)の『あい』のある地域をめざして～やっぱり○○がすき！～』を発表した。

2班は、主に東区・中央区・西区に勤務する職員が中心となり、地域づくりやコミュニケーション委員との連携・支援等を進めるために公民館がどんなことをすればいいのか現在実施している事業を見直し、目指すべき事業の事例をグループ発表した。その結果、グループ9(5名)の「海岸保安林を守るボラソライフの養成講座～人と繋がる…自然と繋がる…はじめのいっほい」を発表した。
3班は、主に南区・西蒲区の職員を中心に研修を行い、研修後の素直な思いを「個人の気づき」から「私たちの気づき」に変えた。3班を代表して4名が発表した。

第2部

【パネルディスカッション】

「公民館改革の意義、その実現に向けて」

○パネリスト

長澤 成治氏：千葉大学教育学部教授

石井山竜平氏：東北大学大学院教育学研究科准教授

神代 浩氏：国立教育政策研究所教育課程研究センター長

○コーディネーター

森沢 真理氏：新潟日報社

文化部長、論説委員、編集委員

森沢 公民館は戦後間もなく1949年に社会教育法

僕の見方です。しかし、対投資効果というものが見えません。その中で、福岡では対投資効果が見えないところからどんどん人件費、事業費が削られています。学びの質を社会教育と学校教育との対比でどう説明するかがポイントだと思っています。日本の公民館は海外から、特に東アジアから注目が集まっています。コミュニティラーニングセンターと言われ、CLCと表現されていますが、地域の力を高めるためのセンターとしてユネスコが支援し、様々な国が作ろうとしています。そのモデルが公民館ではないかと熱く注目を浴びています。いま、韓国は日本よりもはるかに専門性が高い資格制度をつくり、社会教育、生涯学習の領域に対して大きな資本が動いているという状況があります。

長澤 これからの公民館に求められている役割や課題というのは、今日の新潟市公民館改革宣言や3つのグループから出されたことに尽きるのではないかと思います。これからどうやって実践していくのかということだと



思います。今日は会場には300人を超える方が集まっており、市民と職員が大体150人ずつだと伺い非常にいい比率だと思いました。市民と職員がともに協働してパートナーとなってがんばっていく、会場に集まっている方々の姿こそがこれからの新潟市の姿を暗示しているのではないかなと思いました。

今日の改革フォーラムが、公民館が置かれている厳しさの中で開催されているというのは全国的に明らかなこと。こういう大変な時期だからこそ、公民館とはなんだったのかという原点、理念に立ち戻る作業も平行して必要であろうと思います。

森沢 一歩踏み出すということについて、わかりやすいキーワード、キャッチコピーをいただきたいと思います。

長澤 公民館は、「ひとをつなぎ、ともに学ぶ」というのが、地域を変えていく大事な出発点であると思っています

石井山 一人称を二人称にしていくという手続

き、「私」を「私たち」へと、公共度の高い価値を獲得していただきたい。

神代 これからの社会教育に必要なものを聞かれたときには、「こころざし」だと答えています。

森沢 社会教育に、「これが王道だ」、「これが理想だ」はないと思います。地域によって特徴があり、地域の人々と議論しながら組み立てていくという場の大切さが必要だと思います。昔は行政がサービスを提供してきたが、これからは地域住民が、公民館をどのように活用していくか、自分は何ができるのか、私たちはどうつながれるのかを考え、新潟方式を作っていければと思います。

※「パネルディスカッション」については発言内容を要約して掲載した。

【おわりに】

各班の発表グループは、それぞれ打合せ・資料作りや練習を積み重ね本番に備えた。中でも3班は個人の発表であったため、それをグループの発表に変えるためにフォーラムの直前まで調整を行なうこととなった。その結果、各班とも満足できる発表ができたと思っている。

フォーラムでは、「龍馬伝」のテーマ音楽と公民館活動などの写真を多く使用するなど光と音楽で刺激的な演出を行なったことにより、公民館職員の手作りでありながら、今までにない演出が出来たと思っている。

これだけの大掛かりな事業は、今後は開催できないかもしれない。この事業が成功したのは、ひとえに全公民館職員が一丸となって取り組んだ結果だと思う。この勢いを今後の事業に生かして行きたい。



高らかに「改革宣言」を述べる
和田 明彦 新潟市中央公民館長

燕市生涯学習課の松川ゆかりさんを紹介します。彼女は生涯学習課に配属され2年目になります。前職は、保育士さんで異動にともない園児から成人・高齢者へと扱う相手が変わり戸惑いも大きかったのではないかと

でも、今では職場の中は彼女も少しかんたんだい声が鳴り

燕市教育委員会 生涯学習課 主任 松川ゆかりさん

響き笑いの絶えない明るい雰囲気になるいつもの笑顔の中心人物になっています。誰にでも可愛られる不思議な魅力をもつあなた。「はい、松川です。」この元気がもてるい音があなたの魅力だと思います。

(燕市教育委員会 生涯学習課 係長 大岩章浩 記)



主任 松川ゆかりさん

燕市教育委員会 生涯学習課

素顔 拝見

そんな彼に意外な趣味があることを最近知った。新聞には折々にふれた記事を投稿し、懸賞にほとりあえず応募するという、おまけに放送大学の熱心な受講生でもある…秘めた個性をもち、勉強家の彼は次はどんな講座を担当してもらうか(「ぐすね引いて」楽しみにしている私である。)

(新潟市石山地区公民館 館長 平田栄子 記)



嘱託 早川 和雄さん

新潟市石山地区公民館

「おはようございます」公民館の一日が始まる。小さな子どもたちが指をしやがりながら、お母さんに連れられてきたり、高齢者が「少し時間は早いけど、いいかね？」事業の多い春・秋はことさら窓口が賑やかである。いかなる場合にも動じず、笑顔で対応するのが、この春着任したばかりの早川さんである。それもそのはず、彼の前はパテラソのホルマリンであ

津 南 コ コ ナ リ ナ リ

津南ココナリナリ事務所は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。津南ココナリナリの活動は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。津南ココナリナリの活動は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。



津南ココナリナリ事務所は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。津南ココナリナリの活動は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。

「59 企画」の企画



「59 企画」の企画は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。津南ココナリナリの活動は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。

「59 企画」の企画は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。津南ココナリナリの活動は、津南地区の住民の生活の向上を図ることを目的として設立された。

実践記録

152

シリーズ



「関川村放課後子ども教室」

関川村教育委員会 教育課生涯学習班 主任 加藤 龍

○きっかけ・ねらい

今年の春に5つあった小学校が1つに統合され、統合によって使われなくなった校舎を少しでも生かせるよう、また、地域づくりや生涯学習の観点から、子どもたちの遊びや体験の場の充実および子どもたちと地域の方たちのつながりづくりにもなれるようにできればよいとの考えからでした。

○概要

- ・名称：関川村放課後子ども教室
- ・実施日：6月8日から毎週火曜日(但し、休校日を除く。初回は6月5日(土)に開校式として実施)
- ・会場：川北ふれあい自然の家(旧：川北小学校)
- ・参加者：65名(10/15現在)
- ・指導員：20名(但し、毎週4～5名体制とし、月一回程度出席)

・教室の主な流れ

- ①名簿に出席の「○」を子どもに付けさせる。
- ②学校の宿題を行う。
- ③本日の教室を開始。(テーマは日替わりで、天候等により野外活動・屋内活動を実施する)
- ④帰る時に、帰宅の「○」を子どもに付けさせる。

○開校式

6月5日、開校式というかたちで教室がスタートしました。

この日は土曜日ということで放課後ではなかったのですが、せっかくの始まりということもあり、保護者の方々にも見ていただける授業参観方式で始めてみました。参加した小学生は44名で、指導員は20名全員出席。

天気が良く、気温も高かったこともあり、この日は会場近くの川で野外活動を行いました。

川遊びや虫とりなどで夢中になる子どもたち。あまりに夢中になりすぎて、服をよごしてびしょ濡れになる子どももちらほらいました。これには保護者の方々も若干苦笑いだったようですが、普段あまり見ることのない子どもたち同士でいきいきしていたのを見ることができたことで、今後の活動に期待を寄せてくれたようです。

○これまでの課題と展望

教室の内容によって活動場所がいくつかに分かれる場合、その選択は子どもたちの自由にさせていますが、元々小さな小学校なので、場所によっては活動場所が狭く感じるところも出てきたりしています。

また、1・2年生の下校が早く、高学年の下校が遅いため、開校式のようにみんな一斉に教室を始めることができず、特に高学年は教室に来てから終了(保護者のお迎え)までの時間が1時間くらいしかなく、宿題を終える頃にはあまり活動ができず、教室の内容が充実できていないことが課題となっています。

それでも、お迎えまでの待ち時間では、テーブルゲームで指導員たちも遊びながら有意義に過ごしており、中でも将棋については、ルールを知らない子たちばかりなので、やり方を教えてもらいながら物珍しく夢中にやっています。これからは、冬季に差し掛かり、小学校の下校時間が早まることになるため、高学年をはじめ、全体で活動できる時間も長くなってくるので、開校式のときのように全体活動を展開できたらと考えています。

あ
と
が
き
事務局長のつぶやき
これといった台風が来ないままに秋が終わろうとしています。台風被害がなくて良かったと思うものの、毎年来るものが来ないとなんだか不気味な感じがします。竜巻の発生や熊の

純国産クリーンエネルギー

ダムは、CO₂を排出しないクリーンな電力を供給するとともに、都市住民の生活や農業・産業活動などに安定した水の供給を行い、また、集中豪雨等の災害時には住民の生命・財産を守る機能を果たすなど、国民の安心・安全にも役立っています。

新潟県ダム・発電関係市町村協議会
会長(阿賀町長) 神田 敏郎

新潟市中央区新光町4-1 新潟県自治会館内
TEL 025(285)0041 FAX 025(285)1609

出没が相次ぐなど例年にないことが次々と起きています。昨冬は新潟市でも猛地吹雪が起きて大変な混乱が起きました。
気を引き締めて(も)、天変や熊には何の効果もありませんが、せめて防災用具の点検や冬の準備を早めにしなくてはと思っています。

(田原)